



一般社団法人  
うるわしの桜井をつくる会  
〒633-0091 奈良県桜井市  
桜井1259エルトさくら内  
TEL&FAX:0744-43-7773  
URL: <http://lets.some.jp>  
E-mail: [lets@some.jp](mailto:lets@some.jp)

# うるわし通信

平成29年7月

## 平成29年度うるわしの桜井をつくる会総会

### ◆堀井会長挨拶

うるわしの桜井をつくる会は平成22年に設立以来7年目を迎えます。この間皆様方それぞれの立場で、立派な活動をし、地域に貢献をしていただき感謝しています。

今年は奈良県で、「国民文化祭」と「全国障害者芸術・文化祭」が全国初の一体開催で、9月1日から11月30日まで繰り広げられます。桜井は能楽発祥の地、鼓の里でもあり、桜井市でもいろいろのイベントが企画されています。行政の呼びかけで何かをやるというのではなく、国民文化祭をきっかけとして、能楽発祥の地桜井を売り出していきたい。また大神神社の直会殿・能楽堂が三輪駅の東側にできます。もとは大阪宗右衛門町大和屋にあったものが大神神社に移設されます。

皆様方の知恵を出しあっていただき、世界遺産発祥の地桜井のブランドにしていければと思っています。本日はNP0奈良能理事長の石原氏をお招きして、この後能楽のお話を聞きくことになっています。今後ともよろしく願いいたします。

### ◆議案審議

6月18日(日)に桜井市立図書館で、会員総数140名のうち当日出席35名、委任状出席40名総数75名の参加で開催されました。井上孝良議長の下、議案審議に入りすべてが了承されました。(別紙総会資料)

### ◆公開講演 〈狂言の「小謠」体験 石原昌和奈良能理事長に教わる〉

「ごーそーんーもはーんじょお」と独特の発声がホールに湧き起こりました。伝統芸能の中でも古い謠は、歌うという意味です。声を出さなければ、どんなに言葉を知っても知ったことにはなりません。

そこで大蔵流狂言師でもある石原昌和氏に短かく覚えやすい小謠を習いました。現代のわたしたちは西洋音楽に馴染んで、謠の発声法がわかりません。石原氏は西洋式の音譜を用意され、それを使つての俄か稽古です。

「御子孫も繁昌 御寿命永き生きの松の 千代かけて御慶びの 神酒をいざ汲もうよ」

小謠は本当に、短かく覚えやすいものです。

狂言は能楽の一つです。軽妙、洒脱な演技は人間性をよく写して、泣き笑いを誘います。劇中の寸芸として謠や舞もあり、これを小謠、小舞といいます。ともすれば能に隠れ勝ちな狂言ですが、庶民的で多彩な芸能なのです。

浅川 肇



左:浅川氏 右:石原氏

## 【子どもの貧困問題と地域の課題について】 県政出前講座を開催

5月12日（金）の13時30分～15時にかけて、桜井駅前のまほろばセンターで、奈良県の「子どもの貧困対策計画」の具体的取組について、県の担当者（子ども家庭課）から話をして頂き、桜井市をはじめとした自治体としての課題や、うるわしの会を含めて関係諸団体がどのような取組みをしていくことが求められているかについて、学習会をしました。

うるわしの会では、去る12月22日（木）に、同会場の市民交流センターで、「子どもの貧困について桜井の現状や課題について」考える機会を持つてきました。この取組みを踏まえて、今回の出前講座の開催になりましたが、県の「子どもの貧困に対する支援計画」（5年計画）で奈良県としての数値目標の下支援計画が取組まれており、それに合わせて、桜井市としてどのような取組みの対応が求められるかを中心に、今回の学習会では提起を受けて、質疑や意見交換を行ないました。

今回の出前講座には、うるわしの桜井をつくる会、民生児童委員、陽だまり関係者、県議並びに市議有志、そして市内での子ども食堂運営者等、子どもの生活支援に関心を持っている方々が多数（28名）参加されました。講座では、県の担当者より「子ども支援計画の概要」の説明及び県内市町村での活動としての学習支援策や子ども食堂の取組事例、そして「地域子どもの未来応援交付金」制度について紹介がありました。この制度は平成28年度補正予算で10億円の予算措置がなされました。この交付金を活用して県内では、奈良市と平群町で、①実態調査②支援体制の整備計画策定③連携体制の整備④地方自治体のモデル事業への取組みが進められているようです。

### 《求められる課題》

質疑・意見交換では、県が今年度予算措置をした子ども食堂事業の具体的な内容、特に運営に関わる費用の支援方法、スクールカウンセラーの配置のこと、また参加者が市内で地元での具体的な事例として、毎週3回の取組みの紹介なども行われました。

今回の県政出前講座を通じて明らかになった点として、桜井市では数年前の子どもの虐待死亡事件を通じて、子どもの虐待防止・子育て支援ネットワークづくりが進められている一方で、子どもの相対的貧困に対する実態把握や対策協議会等のネットワーク活動が、十分に対応できていないままに、個々の実践が進められている状況で、早急にその点での対応が求められていることとされます。



学習会の様子

＜報告者 楠木克弘＞

## シリーズ活動紹介～桜井へ移住してきました～

はじめまして、石井智子と申します。

去年の春に大阪から桜井に建築設計事務所を移転し、1年と少し経ちましたが、桜井に来て本当に良かったと思ひながら毎日を暮しております。最も良かったのは、近隣のネットワークがまだ残っていて、安心して暮らせるということです。

桜井は古代からの史跡、特に古墳が多く残り、古代史ファンのロマンをかき立てる場所で、大好きです。三輪山をはじめ、それに続く穏やかな山並みと田園風景の景観がとても気に入っています。この景観を崩すような建物が建つことなく、このまま是非保存してほしいと願っております。

先日、山の辺の道の間、柳本にある「天理市トレイルセンターの家具備品のデザインと選定、展示プロデュース」のお仕事をさせていただきました。今まで無料休憩所で黒塚古墳の展示があるだけの建物でしたが、このたび家具・展示が刷新されて一部に大阪で有名な「洋食勝井」さんが、山の辺の道店として開業されました。そのテナントのインテリアデザインも行っております。家具は、テーブルクロスがかかからずに見えている物は全て無垢の木にこだわり、図面を書いて特注で作っていただきました。厚さ5cm幅90cm長さ2m30cmの無垢の一枚板のテーブルを無料休憩コーナーに置いてどなたでもその素晴らしさを体験して頂けるようにしました。予算がありますので、それ以外は集成材を使っております。

そして、展示コーナーの半分は桜井の紹介になっております。海石榴市と仏教伝来の地のパネル、保田與重郎氏の紹介パネルと著書の販売、万葉歌碑原書の写真の展示、万葉歌碑のパフレットの配布です。万葉歌碑原書の写真はまだ1枚ですので今後増やしていきたいです。古代から続く「山の辺の道」そして古代の都が数多く存在した桜井の大和王権の時代が歴史上にはっきり認識されるよう、情報発信をしていきたいと考えております。

(株式会社 美建設計事務所 石井智子) 当会会員



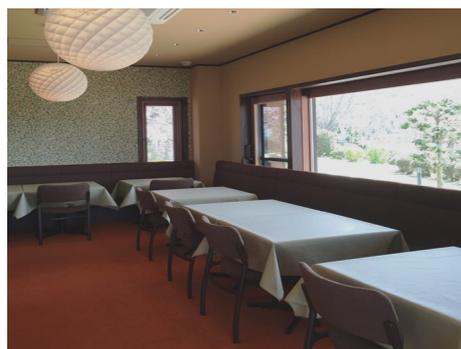
窓に面した無料休憩コーナー



奈良盆地は世界と繋がっていた



一枚板のテーブル

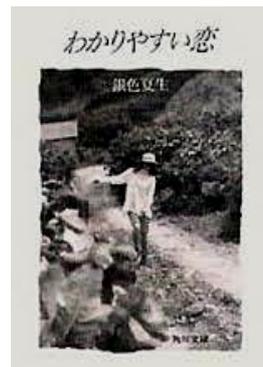


レストラン洋食勝井 山の辺の道店

## お知らせ

### ● 図書館友の会

7月の読書会は、「わかりやすい恋」銀色夏生／著を読みます。  
会っていると話す事なんかないのに、会わないでいると無性に会いたくなる。誰にも覚えがあつて・・・（Amazonカスタマーレビューより）  
日 時 7月25日(火)13:30から  
場 所 まほろばセンター市民活動交流拠点  
問い合わせ先 浅川 肇 TEL:090-1961-6345  
友の会会員以外の参加も歓迎します。



### ● 第56回桜井市夏季大学

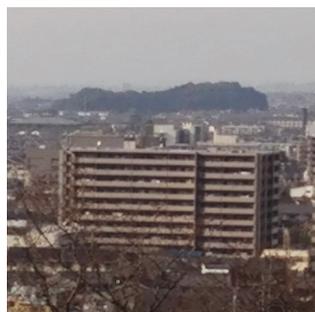
日時 8月27日(日)10:00~15:00  
場所 大神神社 大礼記念館  
午前の部(10:15~12:00)「過去が咲いている三輪の今」鈴木寛治 大神神社宮司  
午後の部(13:15~15:00)「纏向遺跡と『国』のはじまり」寺沢薫 纏向学研究センター所長  
参加費3,000円(資料代・昼食代含む)  
定員200名(申込先着順)  
お申し込み・お問い合わせ先 一般社団法人桜井市観光協会  
〒633-0063 桜井市川合260-2商工会館2階 電話・FAX(共通):0744-42-7530

### ● 芸能発祥の地桜井(第32回国民文化祭・なら2017)

日時:9月9日(土) 場所:桜井市民会館  
1部:13:00~15:00 受付12:30~ 参加費無料  
記念講演 「雅楽と伎楽~伝来とその展開~」佐藤浩司さん(天理大学名誉教授)  
シンポジウム 「日本芸能発祥の源流を辿る~伎楽伝来から能楽誕生の系譜~」  
・コーディネーター 大倉源次郎さん(小鼓方大倉流宗家)  
・パネラー 佐藤浩司さん(天理大学名誉教授)  
辰巳満次郎さん(シテ方宝生流能楽師)  
鈴木貴晶さん(信貴山大本山成福院貫主)  
2部:16:00~18:00 桜井外山座宝生流~能の故郷公演~ 一席2,000円【自由席】  
問い合わせ先 桜井市教育委員会社会教育課 電話:0744-42-9111(内線608)

【編集後記】 編集子を担当して1年が経過しました。うるわしの会活動の「ネットワークの輪を広げる」というような記事が必要かを軸に論議をしながら発行をしてきました。また、名刺広告の掲載も出来ればと、願っていますので、ご協力ください。

芸能発祥の地として、土舞台をより一層紹介していくことが重要との提起を、先日の総会時の石原さんのお話でもありました。写真は、桜井公園の樹木が伐採され、箸墓や三輪山の眺望がよくなった写真です。散策場所としても大変整備されてきました。今後は、公園としては是非とも【便所】や【手洗い場】等の早期整備を願う次第です。(K)



土舞台から望む箸墓古墳と三輪山

うるわし通信発行人  
高瀬 安男  
TEL:090-1678-9157